

経営比較分析表

佐賀県 小城市

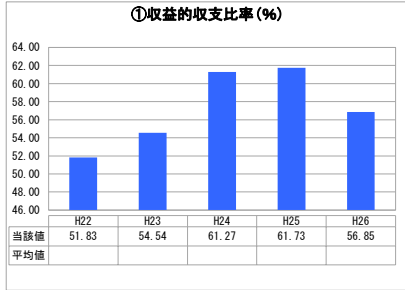
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	6.02	93.79	2,970

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
46,003	95.81	480.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,756	1.41	1,954.61

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



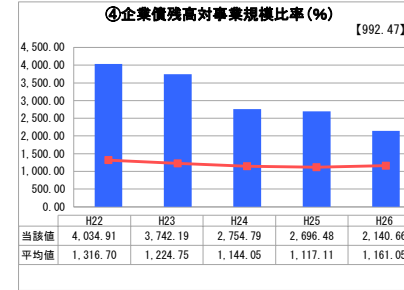
「単年度の収支」



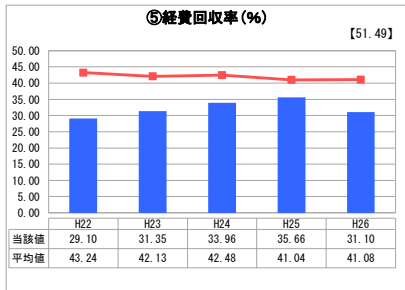
「累積欠損」



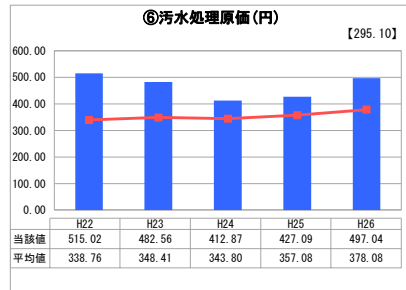
「支払能力」



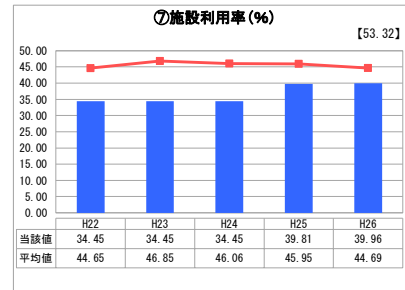
「債務残高」



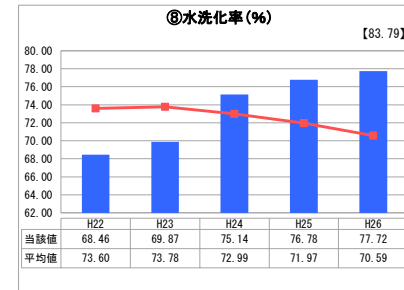
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

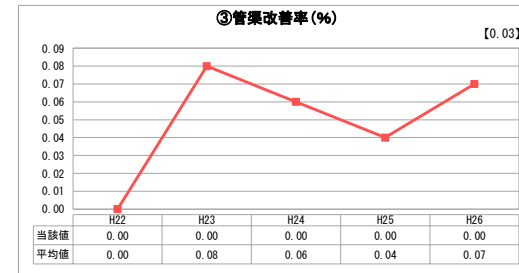
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

当市の農業集落排水について、収益的収支比率が平成25年度までは上昇傾向にあったにもかかわらず、平成26年度に減少している。原因としては委託料と経年劣化による修繕費の増加があげられる。また、企業債残高対事業規模比率は事業が完了しているため、大きな投資が発生しないので、減少傾向にある。しかし、類似団体と比較して高い傾向にあり、経営の健全化への検討が必要である。当市では類似団体と比較して水洗化率が高い水準にあるにもかかわらず、経費回収率が低い水準にある。原因としては農業集落排水に3処理場を有しているため、維持管理費が高くなる傾向にあることがあげられる。また、汚水処理原価が類似団体と比較して高くなっているため、水洗化率の向上や維持管理費の削減などの対策が必要である。施設利用率も上昇傾向にあるものの、類似団体と比較して低い水準にあるため、更なる水洗化率の向上が必要である。

2. 老朽化の状況について

当市の農業集落排水の供用開始は平成13年3月27日となっており、下水道管に法定耐用年数を超えたものはない。しかし、農業集落排水の3処理区の内、2処理区について整備から10年が経過しているため、機能強化を実施している。

全体総括

当市の農業集落排水の健全化・効率化のため、更なる水洗化率の向上を図る必要がある。今後、戸別訪問による接続促進等で下水道接続率の向上を図りたい。また、使用料の改定による経営の健全化も検討しなければならない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。